

小野中学校2年 先崎 晴菜

私はアメリカで自分の目標が達成できました。

一つ目はアメリカと日本の文化の違いを見つけることですが、アメリカでは家に入るときに靴を脱がないことや、ご飯がまったく出ず、朝にはパンを食べることといった違いを見つけることができました。また小さい頃から一人一部屋ずつ部屋を持つていることも違っていません。日本では一人一部屋持つていない人もいます。

二つ目はアメリカで本当の英語を学習したいということですが、カタカナで書かれるような英語はあまり通じませんでしたが、ですが現地の人のように発音したら通じました。
アメリカとは国も言葉も違うけど、みんなとても優しくかったです。



アーチェリーを体験



ヤンキースタジアムにて(右)

小野中学校2年 竹川 未来

私はサマーキャンプに参加して、とても充実した10日間を過ごすことができましたと思います。

ホームステイでは、最初は慣れない環境や英語での会話ができるかということに不安を感じていました。でもホストファミリーの方々が温かく迎えてくれたり、ゆっくりと話してくれたりしたので不安もなくなり、何よりもその心遣いがとてもうれしかったです。
キャンプ場では、カヌーや乗馬などのなかなかやる機会のないことをたくさん体験させていただきました。
今回の研修では、本当に貴重な経験ができました。これからの生活にその経験を生かしていきたいです。

交通安全協会「合併」

8月1日から

「田村地区交通安全協会」

スタート



握手を交わす幕田会長(左)と森田会長

田村地区(旧三春地区)交通安全協会と小野地区交通安全協会が7月27日に合併し、8月1日から「田村地区交通安全協会」としてスタートしました。

合併調印式は、小野町長、田村市長、三春町長などが立会人となり、田村市常葉行政局で行われました。

会員の皆さんには、これを機に、なお一層交通安全活動にご尽力くださるようお願いいたします。

小野町戦没者追悼式

恒久平和への誓いを新たに

小野町主催、小野町遺族会共催による小野町戦没者追悼式が7月28日、勤労青少年ホームで開催され、戦没者の遺族、議会議員、行政区長、民生委員など約80人が参列しました。

式典では、参列者全員で国歌を斉唱し、黙とうを行いました。続いて、町長が「戦争の惨禍を確実に後世に伝え、町民が安心・安全に生活できるように誓いを新たにし、なお一層の努力をしてまいります」と式辞を述べました。また来賓を代表して、議長、宗像弘栄小野町遺族会会長が追悼の言葉を述べ、参列者全員が戦没者をしのびながら菊花を捧げました。



あいさつを述べる
長久保さん

式典の終わりには、遺族を代表して、長久保喜伸さん(湯沢)が「国の行末と家族の幸せを願いつつ、戦禍に散っていった方々のご遺志に応える唯一の道と信じ、前を向き懸命に生きてきました」と挨拶を述べました。



献花する参列者